

## 第 36 回交通工学研究発表会 開催のお知らせ

第 36 回交通工学研究発表会につきましては、各分野の研究者・実務者から多数の論文応募を頂き、下記のとおり開催する運びとなりました。会員の皆様方をはじめ関係各位多数のご聴講と活発なご意見の交換を期待しておりますので、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

また今年には交通工学研究会の創立 50 周年を記念し、記念講演会と祝賀会を実施することといたしました。皆様とともに、これまでの 50 年を懐かしく振り返るとともに、今後目指すべき方向性についても議論できる機会としたいと存じます。ぜひ併せてご参加ください。

### ● 第 36 回交通工学研究発表会

1. 主 催 : 一般社団法人 交通工学研究会
2. 開 催 日 : 平成 28 年 8 月 8 日 (月) ~ 9 日 (火) [受付開始 : 9:30~]
3. 会 場 : 日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館 (東京都千代田区神田駿河台 1-8-14)
4. プログラム : 当会 WEB ページでご確認ください。
5. 参加費 : 発表者、聴講者 共通 (いずれも論文集代 (CD-ROM)、消費税を含む)  
① 請求払い : 交通工学研究会 会員 6,172 円 学生会員 3,086 円 非会員 9,257 円  
※請求書を発行しますので、郵便振替または銀行振込でお手続きください。振込手数料はご負担ください。  
② 現金払い : 交通工学研究会 会員 6,300 円 学生会員 3,200 円 非会員 9,400 円  
※当日会場受付で現金でお支払い願います。お釣りの無いようご準備願います。  
●お申込み後の支払い方法の変更はご遠慮願います。
6. 申込方法 : 参加申込書にご記入の上、当会宛に FAX または郵送願います。メールでお申込みされる場合は、参加申込書を参考に必要事項を記入の上、メールタイトルを「第 36 回交通工学研究発表会申込」とし、event@jste.or.jp 宛にお申込みください。
7. お 願 い : 当日の参加申込みは、受付の混雑時にはお待ちいただく事もございますので、事前にお申込みをいただきますよう、ご協力をお願いいたします。会場で論文の打ち出し原稿の配布は行っておりませんので、各自で印刷やパソコンへのダウンロード等のご準備をお願いいたします。

### ● 交通工学研究会 創立 50 周年記念講演会 平成 28 年 8 月 8 日 (月) 16:00~

交通工学研究発表会の 1 日目の夕方からは、全てのセッションを閉じて記念講演会を実施いたします。記念講演会では、新谷洋二東京大学名誉教授の基調講演や、森田緯之氏(首都高 OB)、秋山尚夫氏(警視庁 OB)および研究会の前会長である桑原雅夫東北大学教授の 3 名による鼎談を行います。申込方法等詳細は別紙開催案内をご覧ください。

### ● 交通工学研究会 創立 50 周年祝賀会 平成 28 年 8 月 8 日 (月) 18:00~

記念講演会に引き続き、来賓をお迎えして祝賀会を実施いたします。50 年の歴史を支えてこられた多くの皆様にお集まり頂き、来し方行く末を語り合っただけならばと存じます。申込方法等詳細は別紙開催案内をご覧ください。

なお、例年行っている研究発表会の懇親会は、この祝賀会をもって代えさせていただきます。

### ● 第 6 回 TOP/TOE 会 平成 28 年 8 月 9 日 (火) 12:40 (昼休み中) ~

2 日目の昼休みには、同会場 4 階 143 教室において TOP/TOE 資格登録者および学識者と交流して頂く『第 6 回 TOP/TOE 会』を開催いたします。申込方法等詳細は別紙開催案内をご覧ください。

### ● 交通工学研究会 自主研究活動報告と受託研究のご案内 平成 28 年 8 月 9 日 (火) 13:30~

交通工学研究会で公益事業の一環として実施している自主研究活動のうち、現在活動中の公募型自主研究の活動経過をデモンストレーション会場で説明いたします。発表会 2 日目の昼休み終了直後の 30 分間は第 1 会場にて、平成 27 年度末に終了した基幹研究「平面交差の計画・設計・制御の研究」の成果を口頭報告するとともに、本年 4 月に発生し著しい被害をもたらした熊本地震に関する調査について、H28 年度基幹研究「災害発生時における交通課題研究」から経過報告を行います。さらに、当会で積極的に進めている官公庁、自治体、道路会社、民間企業、関連団体等との共同研究・受託研究について、これまでの事例や実施に際しての手順などについてご案内しますので、皆様奮ってご聴講ください。

### ● 交通工学研究会 個人会員入会キャンペーンのお知らせ

当会では、7 月 1 日~7 月 25 日に個人会員への入会手続き頂いた方に限り、第 36 回交通工学研究発表会参加費を免除するキャンペーンを実施いたします(論文集 CD-ROM は実費頒布)。この機会に是非個人会員への入会をご検討ください。詳しくは、ホームページをご覧ください。

### ● 当会出版の書籍について

会場では、当会の書籍を割引価格にて販売いたしております。この機会に図書販売コーナーへ是非お越しください。

お申込み・お問合わせ

一般社団法人 交通工学研究会

<http://www.jste.or.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MK ビル 5 階 Tel 050-5507-7153 Fax 03-6410-8718

# 参加希望の方は事前にお申込みをお願いいたします。

当日の受付の混雑緩和のためご協力をよろしくお願いいたします。

## 第36回交通工学研究発表会 参加申込書

◆申込先FAX番号：03-6410-8718

勤務先住所	〒			《電話番号》
勤務先名称				
参加者氏名	所属部課名	会員区分(○印)	会員番号	
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		
		正会員・特別会員 学生会員・非会員		
希望の支払い方法に○	その他(請求書発行に関するご要望など)			
①請求払い ②現金払い				

※記念講演会、祝賀会は、別紙開催案内添付の申込書で別途お申し込みください。

- ◆ 7月下旬より順次、論文集(CD-ROM)と共に参加カード等書類をお送りいたしますので(請求払い希望の方へは、見積書・請求書・納品書も同封)、お手元に書類が届き次第、ご確認をお願いいたします。  
参加カードは当日、名札と引換となりますので、必ずお持ちください(お忘れの場合、受付でお待ちいただく事もあります)。  
8月5日になっても書類が届かない場合は事務局までご連絡ください。
- ◆ お支払いは、①請求払いを希望された方は、郵便振替または銀行振込にてお手続き願います(振込手数料はご負担願います)。②現金払いを希望された方は、発表会の当日、受付でお支払い願います。お釣りの無い様ご準備願います。
- ◆ お申込み後のお支払い方法の変更はご遠慮願います。
- ◆ お申込み後、本人が止むを得ない理由により参加できなくなった場合、または代理の方に変更される場合は、必ず事前に事務局にご連絡をお願いいたします。
- ◆ 事前申込みをされた方で当日ご欠席された場合は、お申込み時に選択された支払い方法の参加費をお支払い願います。
- ◆ 悪天候時の対応など、緊急の連絡は、当会ホームページ <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。
- ★8月3日(水)正午までに確認ができたお申込み分については、論文集(CD-ROM)及び書類等を事前発送いたします。  
それ以降にお申込みの方は、当日渡しとなりますので、会場受付でお申込み人のお名前をお伝えください。

### 会場案内図

住所：千代田区神田駿河台1-8-14(日本大学理工学部1号館)



### 交通のご案内

#### ●アクセス●

- ・JR中央・総武線 御茶ノ水駅(聖橋口)徒歩3分
- ・東京メトロ 御茶ノ水駅(出入口2)徒歩5分
- ・東京メトロ 新御茶ノ水駅(出入口B3b)徒歩3分
- ・都営新宿線 小川町駅(出入口B5)徒歩4分

#### ●乗り換え案内●

- ・東京駅から(約5分)  
東京駅 - <JR中央線または東京メトロ丸ノ内線> - 御茶ノ水駅
- ・羽田空港から(約45分)

#### 【モノレール】

- 羽田空港(第1ビル・第2ビル)駅 - <東京モノレール> - 浜松町駅 - <JR山手線または京浜東北線> - 東京駅 - <JR中央線> - 御茶ノ水駅

#### 【京浜急行】

- 羽田空港国内線ターミナル駅 - <京浜急行線(都営浅草線直通)> - 三田駅 - <都営三田線> - 神保町駅 - <都営新宿線> - 小川町駅

# 第36回交通工学研究発表会 第1日目【2016年8月8日(月)】プログラム

○は発表者

## ≪第1会場(3階131教室)≫

## ≪第2会場(3階134教室)≫

## ≪第3会場(4階141教室)≫

## ≪第4会場(4階142教室)≫

## ≪第5会場(4階144教室)≫

時間	交通流(1) 座長:吉井 稔雄(愛媛大学) 副座長:井ノ口 弘昭(関西大学)	歩行者交通 座長:辰巳 浩(福岡大学) 副座長:谷口 綾子(筑波大学)	運転者認知・挙動(1) 座長:中村 英樹(名古屋大学) 副座長:遠藤 学史(首都高速道路株)	高齢者交通 座長:大森 宣暁(宇都宮大学) 副座長:丸山 佳孝(株東光コンサルタンツ)	防災・災害時交通 座長:森本 章倫(早稲田大学) 副座長:深井 靖史(株福山コンサルタント)
10:00	1 ETC2.0ゲートによる高速道路の暫定2車線区間の交通実態分析 ○成嶋 晋一 葛西 XING Jian XING 後藤 秀典 辻 光弘 機高速道路総合技術研究所 機高速道路総合技術研究所 機高速道路総合技術研究所 機オリエンタルコンサルタンツ 機オリエンタルコンサルタンツ	22 自律白杖とことばの地図を用いた視覚障害者ナビ ○沢田 有美恵 内田 敬 佐美三 幸典 大阪市立大学 大阪市立大学 三井住友銀行	44 アナログフォーシスを用いた路面立体標示のデザイン <デモ有り> ○永見 豊 鈴木 滝沢 木嶋 三堀 邦彦 拓殖大学 拓殖大学 拓殖大学 拓殖大学 拓殖大学	65 アンケート調査を用いた高齢運転者のヒヤリハット経験と交通事故の関係 ○吉田 佳祐 小林 貴 鹿島 茂 中央大学 中央大学 中央大学	86 東北地方太平洋沖地震による液状化発生時の浦安市における応急給水活動の評価に関する研究 ○岩柳 智之 中村 文彦 田中 伸治 三浦 詩乃 三浦 有吉 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学
10:25	2 プローブカー軌跡を用いた流率密度関係の推定—EMアルゴリズムを用いた手法と実データに基づく検証 ○川崎 雄嵩 瀬尾 亨 日下部 貴彦 朝倉 康夫 東京工業大学 東京工業大学 東京工業大学 東京工業大学	23 生理指標を用いた街路空間の快適性評価 ○中務 真里子 鈴木 温 名城大学 名城大学	45 路面標示を用いた交差点のコンハイト化による左折車の走行挙動に対する影響分析 ○小川 圭一 上田 絃太 立命館大学 防衛省	66 トンネル部での注意配分特性に起因する高齢者の追突事故リスク ○飯田 克弘 坪井 紀ノ定 多田 昌裕 大阪大学 中日本高速道路株 大阪大学 近畿大学	87 大規模地震時に発生する建物倒壊を考慮した避難所へのアクセシビリティに関する研究 ○長谷川 究 小早川 悟 稲垣 具志 後岡 秀成 長野 博一 日本大学 日本大学 日本大学 日本工営(株) 荒川区役所
10:50	3 信号交差点で構成されるシングルリットネットワークにおけるリットロック現象の分析 ○岩岡 浩一郎 パナソニックシステムネットワークス(株)	24 都心部業務地域における歩行空間のサービス水準に関する基礎的研究 <デモ有り> ○菊池 雅彦 新階 寛恭 吉田 純土 豊田 将嘉 岩崎 正久 渡辺 英俊 国土交通省都市局 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所 (公社)日本交通計画協会 機国際開発コンサルタンツ 機国際開発コンサルタンツ	46 出口順番を明示したラウンドアバウト環道内案内標識に関する評価実験 ○飯田 健太 小根山 裕之 東京都 首都大学東京	67 高齢者の運転評価と運転免許返納意識に関する研究 (実務論文) ○元田 良孝 宇佐美 誠史 堀 沙恵 岩手県立大学 岩手県立大学 東京海上日動	88 リアルタイム広域人流推定のための高精度で高精度な粒子フィルタの提案 ○須藤 明人 榎山 武浩 矢部 貴大 樋口 知之 中野 正也 高藤 哲也 関本 義秀 東京大学 東京大学 東京大学 統計数理研究所 統計数理研究所 統計数理研究所 東京大学
11:15	4 貨物車プローブの都市内統合による渋滞評価の試み—豊田市におけるケーススタディー ○樋口 恵一 楊 甲 西堀 泰英 (公財)豊田都市交通研究所 (公財)豊田都市交通研究所 (公財)豊田都市交通研究所	25 車両認知状況を考慮した子どもの道路横断判断特性に関する実験的考察 ○稲垣 具志 小早川 悟 寺内 義典 和田 大輔 日本大学 日本大学 国士館大学 日本大学	47 道路の曲線半径に応じて路面表示の配列が運転者の速度認識に及ぼす影響:構造方程式モデリングによる検討 ○四辻 裕文 岩崎 克倫 辻 智史 喜多 秀行 神戸大学 神戸市役所 枚方市役所 神戸大学	68 食い違い二段階横断施設による利用者挙動と意識に関する一考察 (実務論文) <デモ有り> ○村井 宏徳 加藤 明里 神戶 信人 達夫 高瀬 達夫 森田 紳之 機オリエンタルコンサルタンツ 機オリエンタルコンサルタンツ 機オリエンタルコンサルタンツ 信州大学 名古屋工業大学 日本大学	89 インターネットによる吹雪の視程情報提供 (実務論文) ○園分 徹哉 武知 洋太 大宮 裕介 原田 松澤 勝 寒地土木研究所 寒地土木研究所 寒地土木研究所 寒地土木研究所
11:40	5 車両感知器データのマッピングによる都市内渋滞の時空間形態抽出 ○井上 亮 宮下 明久 杉田 正俊 東北大学 東北大学 (公財)日本道路交通情報センター	26 道路空間デザインが歩車間コミュニケーションに及ぼす影響に関する研究 ○中山 昂彦 宮川 愛由 谷口 綾子 井科 美帆 小嶋 聡 藤井 聡 京都大学 京都大学 京都大学 筑波大学 東京大学 埼玉大学 京都大学	48 パーチャルリアリティを用いた交通安全対策の判断性および視認性の評価 (実務論文) ○柿元 祐史 松戸 努 機オリエンタルコンサルタンツ 機オリエンタルコンサルタンツ	69 軽度認知障害患者に対する逆走対策の効果 (実務論文) ○中川 浩 玉井 永見 二瓶 山形 清宮 越塚 友紀 東日本高速道路株 敦賀温泉病院 拓殖大学 東京大学 東日本高速道路株 機ネクスト東日本エンジニアリング 機ネクスト東日本エンジニアリング	90 消雪ポイント設置を考慮した口蹄疫の防疫計画 ○嶋本 寛 米良 昂大 宮崎大学 宮崎大学

時間	交通流(2) 座長:朝倉 康夫(東京工業大学) 副座長:布施 孝志(東京大学)	自転車交通 座長:日野 泰雄(大阪市立大学) 副座長:小川 圭一(立命館大学)	運転者認知・挙動(2) 座長:田久保 宣晃(科学警察研究所) 副座長:後藤 誠(東日本高速道路株)	生活道路・地区交通 座長:元田 良孝(岩手県立大学) 副座長:竹下 卓宏(国土交通省道路局)	交通情報と交通規制 座長:轟 朝幸(日本大学) 副座長:多田 昌裕(近畿大学)
13:05	6 都市高速道路における渋滞現象の確率的特性に関する分析 ○加藤 大知 後藤 中村 英樹 名古屋大学 名古屋大学 名古屋大学	27 自治体における自転車ネットワーク計画の策定内容の比較分析 ○小島 拓郎 山中 英生 徳島大学 徳島大学	49 帯状がドライブにより照射される線状反射光の視認性評価 (実務論文) ○国村 昌生 高木 一誠 萩原 嘉哉 佐藤 嘉哉 佐々木 伸 積水樹脂株 積水樹脂株 北海道大学 北海道大学 機ネクスト・エンジニアリング東北	70 集合住宅におけるサービス車の駐停車実態に関する研究 ○花岡 秀太 岸井 隆幸 大沢 昌玄 前日本大学 日本大学 日本大学	91 バスプローブデータを活用したVICS渋滞情報生成に関する研究—渋滞判定アルゴリズムの精度向上の検討— ○藤 美沙子 辰巳 浩 堤 香代子 吉城 秀治 山口美恵子 福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡大学 福岡市役所
13:30	7 ETC2.0プローブ情報を用いた都市間高速道路における速度低下に関する分析 ○増本 裕幸 宇野 伸宏 山崎 浩弘 亀岡 浩司 山本 山本 隆 阪神高速道路株 京都大学 機地域未来研究所 中日本高速道路株 中日本高速道路株 中日本高速道路株	28 自転車の通行位置及び自転車間と事故の経年変化に関する一考察—環七通りを対象に— (実務論文) ○海老澤 綾一 警視庁	50 帯状がドライブの設置間隔がドライブのワークロードに与える影響について (実務論文) ○萩原 亨 佐藤 嘉哉 川村 彰和 富山 和也 佐々木 伸 曾根 翔太 高木 一誠 国村 昌生 北海道大学 北海道大学 北見工業大学 北見工業大学 機ネクスト・エンジニアリング東北 機ネクスト・エンジニアリング東北 積水樹脂株 積水樹脂株	71 生活道路における道路狭さくの設定効果に関する実証的分析 ○堀川 智貴 堀 将誌 鈴木 弘司 名古屋工業大学 大日本コンサルタンツ(株) 名古屋工業大学	92 路線バスの法定プローブデータを活用した交通状況の推定 ○坂本 勇太 南部 繁樹 財津 陽亮 赤羽 直輝 大野 直輝 中日本ハイウェイ・エンジニアリング 機トリアックプラス 機トリアックプラス 千葉工業大学 千葉工業大学

## デモンストレーション & 自主研究活動報告<デモ有り>表示のある発表(両日分)及び自主研究活動のパネル展示を行います。 於)デモ会場(3階132教室)

14:25	8 交通流シミュレータを用いた歩行者先行信号現示(LPI)の効果分析 ○髭野 万磨 張 馨 後藤 梓 中村 英樹 名古屋大学 名古屋大学 名古屋大学 名古屋大学	29 サイクリストによる多様な車道内自転車利用空間の安全感評価 ○山中 英生 原澤 拓也 西本 拓弥 徳島大学 さいたま市役所 西松建設株	51 プロビーム照明下の歩行者視認性に関する基礎的研究 ○草竹 大輝 萩原 亨 浜岡 秀勝 江湖 俊介 轟 麻起子 岡嶋 克典 小林 正自 北海道大学 北海道大学 秋田大学 秋田大学 岩崎電気株 岩崎電気株 横濱国立大学 照明学会専門会員	72 生活道路における速度抑制のための屈曲部の形状に関する研究 ○大橋 幸子 川瀬 晴香 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所	93 ETC2.0ゲート外による高速道路上における突発事象検知の可能性検討 (実務論文) ○鹿野島 秀行 牧野 浩志 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所	
14:50	9 Harmonic Spatial Filteringによる歩行者流の密度-速度関係における空間相関のモデル化 ○中西 航 福富 義章 布施 孝志 東京大学 東京大学 東京大学	30 自転車専用通行帯の利用に及ぼす要因分析 ○嶋田 喜昭 小塚 大輔 大同大学 国土交通省三重河川国道事務所	52 サグ認知における注意の解放効果 ○白柳 洋俊 吉井 稔雄 兵頭 知 愛媛大学 愛媛大学 日本大学	73 自動車プローブデータを用いた抜け道交通実態の分析 ○櫻木 悠貴 松尾 幸二郎 杉本 直 豊橋技術科学大学 豊橋技術科学大学 豊橋技術科学大学	94 高速道路IC入口の短時間閉鎖による渋滞対策社会実験の効果検証 (実務論文) ○齋藤 辰哉 多原 裕二 加藤 寛道 清宮 広和 石田 貴志 東日本高速道路株 東日本高速道路株 東日本高速道路株 機ネクスト東日本エンジニアリング 機道路計画	95 仮想都市道路網における感知交通量のハイズ誤差の補正 ○堀江 利彰 赤羽 弘和 千葉工業大学 千葉工業大学

### 交通工学研究会 創立50周年 記念講演会

#### 於)日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館6階CSTホール

研究会発足時より理事を務められた新谷洋二東京大学名誉教授の基調講演や、研究会で長く活躍された森田紳之氏(首都高OB)、秋山尚夫氏(警視庁OB)および研究会の前会長である桑原雅夫東北大学教授の3名による鼎談を行います。また、冒頭では、朝倉康夫会長から50周年にあたってのご挨拶を申し上げますとともに、締め言葉として、赤羽弘和副会長より今後の交通工学の展望についてお話を申し上げます。

### <プログラム>

挨拶: 朝倉 康夫(交通工学研究会会長)  
基調講演: 新谷 洋二(東京大学 名誉教授)  
鼎談: 「実務と研究の間をつないできた50年」  
森田 紳之(日本大学)  
秋山 尚夫(交通運用研究所)  
桑原 雅夫(東北大学大学院)  
締め言葉: 「交通工学のこれからの10年について」  
赤羽 弘和(交通工学研究会副会長)

18:00~ 交通工学研究会 創立50周年 祝賀会 於)日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館2階 カフェテリア



# 第36回交通工学研究発表会 第2日目【2016年8月9日(火)】プログラム

○は発表者

## 《第1会場(3階131教室)》

## 《第2会場(3階134教室)》

## 《第3会場(4階141教室)》

## 《第4会場(4階142教室)》

## 《第5会場(4階144教室)》

時間	交通容量・サービス水準	交通安全(1)	情報提供・運転支援	公共交通(1)	道路計画・都市交通計画(1)
10:00	座長:大口 敬(東京大学) 副座長:小林 克徳(警視庁)	座長:萩原 亨(北海道大学) 副座長:川本 義海(福井大学)	座長:瀬戸下 伸介(国土技術政策総合研究所) 副座長:鈴木 弘司(名古屋工業大学)	座長:山中 英生(徳島大学) 副座長:土屋 哲(鳥取大学)	座長:藤原 章正(広島大学) 副座長:井料 美帆(東京大学)
10:10	都市内多車線道路における緩速車線を 用いた交通運用策の 提案と評価 ○吉岡 慶祐 下川 澄雄 森田 純之 茂木 翔平 土屋 克貴 日本大学 日本大学 日本大学 日本大学 株式会社エンタルコンサルタンツ	32 施設構造などからみ た高速道路での逆 走要因の分析 ○浜岡 秀勝 大川 孝平 太田 徹 秋田大学 山形県庁 東日本高速道路	53 ナビゲーションサービスに おける交通規制対策 の横浜マリンへの適 用 ~迂回ルート検 索、迂回シミュレーション、 経路検索連動ハナ PUSH通知の連携~ (実務論文) <デモ有り> ○太田 恒平 榊本ヒタムジャパン	74 台湾・台中BRTシステム 導入後のサービス変化 に関する考察 ○会田 裕一 大沢 岸井 榊東芝/日本大学客員研究員 日本大学 日本大学	96 混合交通流シミュレータ による岡山駅前路面 電車軌道延伸計画 の交通影響評価 (実務論文) ○吉村 忍 加納 達彬 藤井 秀樹 内田 英明 東京大学 東京大学 東京大学 東京大学
10:25	11 暫定2車線区間にお けるトワック機能の サービス指標に関する 考察 ○葛西 誠 Xing Jian 成嶋 晋一 後藤 秀典 辻 光弘 ㈱高速道路総合技術研究所 ㈱高速道路総合技術研究所 ㈱オリエンタルコンサルタンツ	33 高速道路における行 き先間違い発生要因 の把握 ○飯田 克弘 浅井 翔治 井上 剛志 大阪大学 (独法)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 大阪大学	54 ETC2.0対応カーナビを 用いた車線利用適 正化情報提供サービス の導入効果評価 (実務論文) ○吉村 仁志 福山 祥代 山田 康右 加納 英明 鹿野島 秀行 牧野 浩志 国土技術政策総合研究所 東京大学 パシフィックコンサルタンツ(株) パシフィックコンサルタンツ(株) 国土技術政策総合研究所 国土技術政策総合研究所	75 定時性に着目したパ ンクにおけるBRTの 評価に関する研究 ○田原 正博 中村 文彦 田中 伸治 三浦 詩乃 有吉 亮 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学 横浜国立大学	97 電停利用者による道 路横断を考慮した軌 道系交通導入後の 交通流の変化に関 する研究 ○田部井 優也 長田 哲平 大森 宣暁 宇都宮大学 宇都宮大学 宇都宮大学
10:50	12 北海道における「2 +1車線」型道路の サービス性能の実測 (実務論文) ○宗広 一徳 高田 哲哉 石田 樹 寒地土木研究所 寒地土木研究所 寒地土木研究所	34 アソシエーション分析に よる高速道路の事故 要因分析手法の提 案 (実務論文) ○澤田 英郎 高田 翔太 大石 和弘 多田 昌裕 西日本高速道路エンジニアリング(関西)㈱ 西日本高速道路エンジニアリング(関西)㈱ 西日本高速道路㈱ 近畿大学	55 看板設置や標識取 替等による交通運用 の改善効果 (実務論文) ○水谷 明嗣 平尾 征也 TIINH NGUYEN THANH 渡部 数樹 名古屋高速道路公社 名古屋高速道路公社 ㈱オリエンタルコンサルタンツ ㈱オリエンタルコンサルタンツ	76 ニューラルネットワークを用 いた路線バスの遅延 時間予測 ○轟 朝幸 川崎 智也 野村 大智 横関 敬裕 日本大学 東京工業大学 東日本高速道路(株) 日本大学	98 自家用車の送迎を 考慮した駅前広場整 備に関する研究 ○西牧 翔平 稲垣 具志 小早川 悟 ㈱片平エンジニアリング 日本大学 日本大学
11:15	13 交通容量の経年変 動を考慮した速度回 復誘導灯設置効果 の分析 ○北村 彩菜 ○垣見 康博 中日高速道路(株) 立命館大学	35 交通流状態に着目し た日仏高速道路に おける事故発生リスク の比較分析 ○兵頭 知 吉井 稔雄 日本大学 愛媛大学	56 近接する2車線ジャン クション情報板が視認 ・判断に与える影響の 把握 (実務論文) ○佐藤 久長 飯田 克弘 和田 泰明 河西 正樹 高橋 秀喜 馬淵 一三 中日本ハイウェイ・エンジニアリング(東京)㈱ 大阪大学 中日本ハイウェイ・エンジニアリング(東京)㈱ 中日本ハイウェイ・エンジニアリング(名古屋)㈱ 中日本高速道路(株)	77 観光期P&BR及び公 共交通利用促進の ための情報提供時 期・内容・媒体に関 する分析 (実務論文) ○柳沢 吉保 轟 直希 塩澤 翔平 高山 純一 長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 岐阜大学 金沢大学	99 超小型モビリティの走 行特性に着目した利 用可能性分析 ○井ノ口 弘昭 秋山 孝正 関西大学 関西大学
11:50	14 道路交通特性の開 連性分析と交通性能 評価への応用 ○松村 健志 渡邊 友崇 四辻 裕一 喜多 秀行 神戸大学 阪神電気鉄道(株) 神戸大学 神戸大学	36 ETC2.0データを用いた 北海道の高速道路 における潜在的な事 故危険箇所の抽出 (実務論文) ○江原 豊 伊藤 俊明 成田 梨香 東日本高速道路(株) ㈱ネクスコ・エンジニアリング(北海道) ㈱ネクスコ・エンジニアリング(北海道)	57 シンボルと2車線が表 示される道路情報板 の判断に関する検証 (実務論文) ○佐藤 久長 飯田 克弘 鈴木 彩希 相原 秀多 高橋 秀喜 馬淵 一三 中日本ハイウェイ・エンジニアリング(東京)㈱ 大阪大学 中日本ハイウェイ・エンジニアリング(東京)㈱ 中日本ハイウェイ・エンジニアリング(名古屋)㈱ 中日本高速道路(株)	78 過疎地域における自 家用有償旅客運送 での貨客混載実現 に向けた課題整理- 宮崎県西米良村小 川地区を対象とし て ○吉武 哲信 ○明石 千鶴 濱田 亨 白石 悦二 九州工業大学 中央復建コンサルタンツ(株) 西米良村 日本工営(株)	100 通勤混雑緩和施策 評価のための時間 帯別統合均衡配分モ デルの構築 ○嶋本 寛 森 諒星 宮崎大学 大阪大学
12:15	15 錯視を活用したサ グにおける速度低下 抑制手法の効果検証 ○西元 崇 榎本 宗司 松本 修一 平岡 敏洋 ㈱JR東日本情報システム ドコモ・データコム(株) 文教大学 京都大学	37 ヒヤリハットデータを用 いた幹線道路にお ける事故リスク分析 ○久保田 史穂 吉田 長裕 西岡 昌志 大阪市立大学 大阪市立大学 建設技術研究所	58 事故軽減と安心感・ 負担軽減を区別した 運転支援機能の社 会的価値 (実務論文) ○服部 佑哉 杉浦 剛史 小野 剛史 梶 大介 高木 朗義 ㈱テソーロ 岐阜大学 (一社)システム科学研究所 ㈱テソーロ 岐阜大学	79 鉄道の廃止に沿 線の学校に及ぼした影 響の実証分析-一名 鉄道妻線を事例とし て ○坂本 淳 山岡 俊一 岐阜工業高等専門学校 呉工業高等専門学校	101 ICへアごとの高速道 路の時間交通量の 変動特性の分析 名取 優太 ○佐々木 邦明 井口 均 西川 啓幸 山梨県 山梨大学 高速道路総合技術研究所 高速道路総合技術研究所

13:30 《第1会場》に於いて、交通工学研究会で公益事業の一環として実施している自主研究活動のうち、平成27年度末に終了した基幹研究「平面交差の計画・設計・制御の研究」(代表:赤羽弘和)の成果を口頭報告するとともに、本年4月に発生し著しい被害をもたらした熊本地震に関する調査について、H28年度基幹研究「災害発生時における交通課題研究」(代表:元田良孝)から経過報告を行います。

14:00 さらに、当会で積極的に進めている官公庁、自治体、道路会社、民間企業、関連団体等との共同研究・受託研究について、これまでの事例や実施に際しての手順などについてご案内します。皆様には奮ってご聴講ください。

時間	都市交通調査とデータの応用	交通安全(2)	交通行動分析	公共交通(2)	都市交通計画(2)
14:10	座長:小早川 悟(日本大学) 副座長:石坂 哲宏(日本大学)	座長:牧野 浩志(国土技術政策総合研究所) 副座長:稲垣 具志(日本大学)	座長:桑原 雅夫(東北大学) 副座長:梶田 佳孝(東海大学)	座長:中村 文彦(横浜国立大学) 副座長:秋元 伸裕(一財)計量計画研究所)	座長:岸井 隆幸(日本大学) 副座長:嶋本 寛(宮崎大学)
14:10	16 フローデータによる路 線バスの急減速発生 要因の分析 ○赤羽 弘和 南都 繁樹 財津 亮亮 ○堀田 光太郎 深澤 駿介 高星 裕人 千葉工業大学 ㈱トワックプラス ㈱トワックプラス 千葉工業大学 千葉工業大学 千葉工業大学	38 路面電車軌道を有 する交差点にお ける路面電車の危険回 避行動と右折車の停 止位置 (実務論文) ○川本 義海 中川 航平 福井大学 東日本旅客鉄道(株)	59 携帯GPSデータを用 いたバスモデル「 によるリアルタイムな 行動予測 <デモ有り> ○古澤 京 須藤 明人 関本 義秀 足立 龍太郎 東京大学 東京大学 東京大学 ㈱ゼンリンデータコム	80 デジタル日報データに よるバス利用の実態 把握 (実務論文) ○福本 雅之 松尾 幸二 山本 隆道 松本 幸正 (公財)豊田都市交通研究所 豊橋技術科学大学 国土交通省中部運輸局 名城大学	102 オールド・ニュータウン におけるコミュニティ 主体のPM共同利用 サービスの住民受容 性 ○倉橋 一将 力石 真 ○藤原 章正 富士通(株) 広島大学 広島大学
14:35	17 量的・質的データを 融合した事故要因分 析による新たな交通 事故分類と安全対策 の方向性 ○金 進英 宇野 巧 岩里 泰幸 大藤 武彦 ㈱交通システム研究所 阪神高速道路(株) 阪神高速道路(株) ㈱交通システム研究所	39 踏切横断前の運 転者の経験と直前 横断発生との関係 性 ○小林 貴 坂本 将吾 中央大学 (一財)電力中央研究所	60 GPSデータを用いた ループバスによる選 肢集合の生成と食 料雑貨店選択要因の 分析 ○川崎 智也 東京工業大学	81 貨走履歴データを用 いたバス事業者の 付随的サービスの供 給可能性に関する分 析 ○土屋 哲 谷本 圭志 鳥取大学 鳥取大学	103 前橋市富士見町を 事例とした合併域 における生活質の基 礎的考察 ○塚田 伸也 森田 哲昭 湯沢 昭 前橋市 前橋工科大学 前橋工科大学
15:00	18 Bluetoothスキャ ナの指向性と設置位 置を考慮したMACア ドレスの検知確率推 定モデル ○坪田 隆宏 藤井 浩史 吉井 稔雄 河野 侑奈 愛媛大学 愛媛大学 愛媛大学 ㈱オリエンタルコンサルタンツ	40 高速道路側壁の擦 過痕による大型貨 物車の危険走行挙 動の推定 (実務論文) ○両角 岳彦 割田 博 赤羽 弘和 ○福吉 龍一 加藤 周平 自動車評論家 首都高速道路(株) 千葉工業大学 中日本ハイウェイ・エンジニアリング(東京)㈱ 首都高技術(株)	61 買い物支援サービス 導入状況別にみた 買い物における外出 頻度に関する研究 ○伊勢 昇 湊 絵美 櫻井 祥之 和歌山工業高等専門学校 和歌山工業高等専門学校 和歌山工業高等専門学校	82 運行データを用いた 都市鉄道の所要時 間の変動特性の分 析 ○塚本 圭佑 金子 雄一郎 日本大学 日本大学	104 拠点魅力ならびに 来街者特性を考慮 した回遊行動モデル の構築-長野市 中心市街地を対象 として ○轟 直希 柳沢 吉保 ○武藤 創 高山 純一 長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 長野工業高等専門学校 金沢大学

15:55 **デモンストレーション & 自主研究活動報告<デモ有り>表示のある発表(両日分)及び自主研究活動のパネル展示を行います。 於)デモ会場(3階132教室)**

15:55	19 フローデータを用 いたデジタル道路 地図位置ずれ自動 補正手法の開発 ○久保田 誠也 須崎 純一 栗木 周 京都大学 京都大学 京都大学	41 周辺車群の特性が 高速道路事故深刻 度に及ぼす影響 ○福満 聖也 塚井 誠人 神澤 拓 張 峻屹 広島大学 広島大学 東京地下鉄(株) 広島大学大学院国際協力研究科	62 自動運転車の利用 による個人の外出 行動への影響分析- 外出頻度・目的地 の変化に着目して ○香月 秀仁 川本 雅之 栗野 雅光 谷口 守 筑波大学 筑波大学 筑波大学 筑波大学	83 東日本震災復旧 過程での東北地方 沿岸部BRTシステム 導入事例における種 々のステークホル ダの意見及びその 変化に関する研究 (実務論文) ○芳山 慧子 冢田 仁 政策研究大学院大学 政策研究大学院大学	105 重要伝統的建造物 群保存地区にお ける駐車場の実態 に関する研究 ○湯浅 集也 大沢 昌彦 岸井 隆幸 ㈱福山コンサル タント 日本大学 日本大学
16:20	20 ETC2.0フロー情 報を活用したパー キングエリア利用 状況の試行的分 析 (実務論文) ○三好 孝明 長谷川 栄一 田中 伸治 ㈱長大 首都高速道路(株) 横浜国立大学	42 飲酒運転取締り の飲酒運転事故抑 止効果 (実務論文) ○萩田 賢司 森 健二 横関 俊也 矢野 伸裕 科学警察研究所 現所属 自動車安全運転センター 科学警察研究所 科学警察研究所 科学警察研究所	63 個人の意識・交通 行動に着目したFCV の利用意向 ○越川 知雄 高原 勇 谷口 守 筑波大学 筑波大学 筑波大学	84 空間人口分布を考 慮した私事目的バ ス停車位置推計手 法の提案 ○鷲津 宏明 遠藤 玲 藤田 亮 秋山 祐樹 芝浦工業大学 芝浦工業大学 ㈱エフ日本技術開 発 東京大学	106 社会経済条件変化 からみる高速道路 インターチェンジ 整備に関する歴史 的考察 ○帆足 元 家田 仁 中日本高速道路(株) 政策研究大学院大学
16:45	21 ETC2.0フロー データを活用した 都市間高速道路に おける休憩行動分 析 ○平井 章一 Jian XING 甲斐 慎一朗 堀口 良太 宇野 伸宏 ㈱高速道路総合技術研究所 ㈱高速道路総合技術研究所 ㈱アイトランスポ ートラボ ㈱アイトランスポ ートラボ 京都大学	43 交通安全対策への 「慣れ」が対策の 効果に与える影響 の検証 (実務論文) ○長尾 一輝 菅野 桂子 松戸 努 ㈱オリエンタル コンサルタンツ ㈱オリエンタル コンサルタンツ ㈱オリエンタル コンサルタンツ	64 混合分布モデルを 適用した鉄道通 車者の到着分布の 推定 ○宮内 弘太 高田 和幸 高浪 裕三 藤生 慎 東京電機大学 東京電機大学 新潟県庁 金沢大学	85 集落における地域 公共交通の支援金 支払い及び相乗り 事業への参画・利 用に対する意識 調査 ○岡村 篤 阿部 佑平 福井 淳一 松村 博文 北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所 北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所 北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所 北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所	107 道路公害訴訟に係 る道路連絡会の 意義と課題 ○谷内 久美子 藤江 徹 (公財)公害地域再生センター (公財)公害地域再生センター

# 交通工学研究会 創立 50 周年

## 記念講演会・祝賀会

今年 2016 年は、交通工学研究会が設立されて 50 周年となる記念すべき年です。そこで、交通工学研究会発表会の開催に合わせて記念講演会と祝賀会を実施することといたしました。皆様とともに、これまでの 50 年を懐かしく振り返るとともに、今後目指すべき方向性についても議論できる機会としたいと存じます。ぜひご参加ください。

### 記念講演会

交通工学研究会発表会の 1 日目の夕方は、全てのセッションを閉じて記念講演会を実施いたします。記念講演会では、研究会発足時より理事を務められた新谷洋二東京大学名誉教授の基調講演や、研究会で長く活躍された森田紳之氏(首都高 OB)、秋山尚夫氏(警視庁 OB)および研究会の前会長である桑原雅夫東北大学教授の 3 名による鼎談を行います。また、冒頭では、朝倉康夫会長から 50 周年にあたってのご挨拶を申し上げるとともに、締め言葉として、赤羽弘和副会長より今後の交通工学の展望についてお話を申し上げます。

#### 開催日時

平成 28 年 8 月 8 日(月)16:00～

#### 会場

日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館 6 階 CST ホール  
(東京都千代田区神田駿河台 1-8-14)

#### プログラム

挨拶：朝倉 康夫 (交通工学研究会会長)

基調講演：新谷 洋二 (東京大学 名誉教授)

鼎談：「実務と研究の間をつないできた 50 年」

森田 紳之 (日本大学)

秋山 尚夫 (交通運用研究所)

桑原 雅夫 (東北大学大学院)

締め言葉：「交通工学のこれからの 10 年について」

赤羽 弘和 (交通工学研究会副会長)

#### 参加費・申し込み

参加費：無料

申し込み：お席に限りがございます。参加希望の方は事前に必ず参加申し込みをお願いします。空席がある場合に限り、当日のお申し込みも受け付けます。

### 祝賀会

記念講演会に引き続き、来賓をお迎えて祝賀会を実施いたします。50 年の歴史を支えてこられた多くの皆様にお集まり頂き、来し方行く末を語り合っていただければと存じます。

なお、例年行っている研究発表会の懇親会は、この祝賀会をもって代えさせていただきます。

#### 開催日時

平成 28 年 8 月 8 日(月)18:00～

#### 会場

日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館 2 階カフェテリア  
(東京都千代田区神田駿河台 1-8-14)

#### 参加費・申し込み

参加費：3,000 円 (消費税込)

立食形式です。当日会場にて現金でお支払い願います。

申し込み：参加希望の方は必ず事前にお申し込み願います。

お申込み・お問い合わせ

一般社団法人 交通工学研究会

<http://www.jste.or.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MK ビル 5 階 Tel 050-5507-7153 Fax 03-6410-8718

**参加希望の方は事前にお申し込みをお願いいたします。**

当日の受付の混雑緩和のためご協力をよろしくお願いいたします。

■ 申込先 FAX 番号  
03-6410-8718

**交通工学研究会 50 周年記念講演会／祝賀会 参加申込書**

参加者ごとに、交通工学研究会 50 周年 記念講演会／祝賀会それぞれ、参加の申し込み区分に○をつけてお申し込みください。記念講演会はお席に限りがございます。定員に達し次第締め切ります。空席がある場合のみ、当日も参加受付をいたします。

勤務先住所	〒			《電話番号》	
勤務先名称					
1	参加者氏名	所属部課名		会員区分(○印)	会員番号
				正会員・特別会員 学生会員・非会員	
	記念講演会(無料)へ参加申し込み→ (どちらかに○)	する しない	祝賀会(有料)へ参加申し込み→ (どちらかに○)	する しない	
2	参加者氏名	所属部課名		会員区分(○印)	会員番号
				正会員・特別会員 学生会員・非会員	
	記念講演会(無料)へ参加申し込み→ (どちらかに○)	する しない	祝賀会(有料)へ参加申し込み→ (どちらかに○)	する しない	
3	参加者氏名	所属部課名		会員区分(○印)	会員番号
				正会員・特別会員 学生会員・非会員	
	記念講演会(無料)へ参加申し込み→ (どちらかに○)	する しない	祝賀会(有料)へ参加申し込み→ (どちらかに○)	する しない	

◆ 悪天候時の対応など、緊急の連絡は、当会ホームページ <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。

【記念講演会をお申し込みの方】

◆ 参加カード等事前に郵送物はお送りしません。当日、記念講演会の会場へ直接お越しください。

【祝賀会をお申し込みの方】

◆ 参加カード等事前に郵送物はお送りしません。当日、祝賀会会場の受付で、参加費をお支払い願います。

**会場案内図** 住所：千代田区神田駿河台 1-8-14 (日本大学理工学部 1 号館)



**交通のご案内**

● アクセス ●

- ・ JR 中央・総武線 御茶ノ水駅(聖橋口)徒歩 3 分
- ・ 東京メトロ 御茶ノ水駅(出入口 2)徒歩 5 分
- ・ 東京メトロ 新御茶ノ水駅(出入口 B3b)徒歩 3 分
- ・ 都営新宿線 小川町駅(出入口 B5)徒歩 4 分

● 乗り換え案内 ●

- ・ 東京駅から(約 5 分)  
東京駅 - <JR 中央線または東京メトロ丸ノ内線> - 御茶ノ水駅
- ・ 羽田空港から(約 45 分)

【モノレール】

- 羽田空港(第 1 ビル・第 2 ビル)駅 - <東京モノレール> - 浜松町駅 - <JR 山手線または京浜東北線> - 東京駅 - <JR 中央線> - 御茶ノ水駅

【京浜急行】

- 羽田空港国内線ターミナル駅 - <京浜急行線(都営浅草線直通)> - 三田駅 - <都営三田線> - 神保町駅 - <都営新宿線> - 小川町駅